



## 平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月8日

上場取引所 東

上場会社名 アキレス株式会社

コード番号 5142 URL <http://www.achilles.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 伊藤 守

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理本部長

(氏名) 藤澤 稔

TEL 03-5338-8112

四半期報告書提出予定日 平成28年11月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	40,920	△3.1	929	69.7	1,060	14.4	731	△58.6
28年3月期第2四半期	42,244	0.5	547	27.8	926	60.4	1,767	85.5

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 △865百万円 (—%) 28年3月期第2四半期 2,103百万円 (117.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	40.01	—
28年3月期第2四半期	95.50	—

※平成28年10月1日を効力発生日として、普通株式10株を1株とする株式併合を実施したため、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第2四半期	74,660	41,795	56.0	2,296.72
28年3月期	78,007	43,541	55.8	2,378.79

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 41,795百万円 28年3月期 43,541百万円

※平成28年10月1日を効力発生日として、普通株式10株を1株とする株式併合を実施したため、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり純資産を算定しております。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	4.00	4.00
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

※当社は、平成28年10月1日を効力発生日として普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。平成29年3月期(予想)の1株当たり期末配当金につきましては、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載しております。株式併合を考慮しない場合の平成29年3月期(予想)の1株当たり期末配当金は4円となります。詳細につきましては、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

### 3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	87,000	△1.5	2,000	7.2	2,100	△12.3	1,400	△45.0	76.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※平成29年3月期の通期の連結業績予想における1株当たり当期純利益につきましては、株式併合の影響を考慮しております。詳細につきましては、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期2Q	18,362,714 株	28年3月期	18,362,714 株
② 期末自己株式数	29年3月期2Q	165,015 株	28年3月期	58,809 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期2Q	18,287,073 株	28年3月期2Q	18,506,352 株

※平成28年10月1日を効力発生日として、普通株式10株を1株とする株式併合を実施したため、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、発行済株式数(普通株式)を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続を行っております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(株式併合後の配当及び業績予想について)

当社は、平成28年6月29日開催の第96回定時株主総会において、平成28年10月1日を効力発生日として、株式併合について承認可決され、普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。なお、株式併合考慮前に換算した平成29年3月期の配当予想及び連結業績予想は以下のとおりとなります。

1. 平成29年3月期の配当予想  
1株当たり配当金 期末 4円
2. 平成29年3月期の通期の連結業績予想  
1株当たり当期純利益 通期 7円67銭

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における経済情勢は、国内は雇用・所得環境の改善と原油価格の安定は継続しましたが、個人消費の回復は進まず、後半は天候不順が続いたことから、消費財をはじめとする商品価格に下落傾向がみられました。海外では米国経済が引き続き好調を維持する一方で、中国をはじめとするアジア新興国や資源国の景気が下振れし、また英国のEU離脱問題や世界各地で多発するテロ行為が不安材料となりました。さらに円高傾向の為替相場はインバウンド効果を減衰させ、輸出企業の収益を圧迫し、これにともなう株価低迷により景気減速への懸念が強まるなど厳しい事業環境が継続しました。

このような事業環境のもと、当社グループは企業価値の増大を目指して、お客様が求める商品・ブランド力のある商品創りに注力してまいりました。具体的には省エネルギー関連製品、環境対応製品、スポーツ健康関連製品など成長分野とインフラ整備関連分野、およびグローバル化へと積極的な事業展開を推進するとともに徹底したコストダウンに取り組んでまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高 40,920 百万円(前年同四半期比 3.1%減)、営業利益 929 百万円(前年同四半期比 69.7%増)、経常利益 1,060 百万円(前年同四半期比 14.4%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益 731 百万円(前年同四半期比 58.6%減)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### <シューズ事業>

幅広い世代から人気を得ているスポーツシューズの「スポルディング」は、スニーカーブームの市場背景を受け、特にシニア向けジョギングシューズが好調に推移し、前年売上を上回りました。

また、発売3年目を迎えた米国ブランド「アウトドアプロダクツ」も、バッグと同素材を使用したスニーカーシリーズを中心に好調に推移し、前年売上を上回りました。主力であるジュニアスポーツシューズ「瞬足」は、海外ブランドの台頭などにより苦戦し、シューズ事業全体では前年売上を下回りました。

シューズ事業の当第2四半期連結累計期間の業績は売上高 7,915 百万円(前年同四半期比 7.5%減)、セグメント利益(営業利益)は△832 百万円(前年同四半期は△478 百万円)となりました。

#### <プラスチック事業>

車輦内装用資材は、国内向けは採用車種の増産により伸長し、中国・北米マーケット向けも堅調に推移しましたが、円高による外貨建売上高換算の影響により、全体では前年売上を下回りました。

フィルムの国内事業は、建材用、印刷用が好調でしたが、一般用が苦戦し、前年売上を下回りました。輸出関係は苦戦し前年売上を下回りました。北米事業は、医療用とグラフィック用が好調に推移しましたが、文具用は苦戦しました。農業分野は、生分解用が好調に推移し、前年売上を上回りました。

建装資材の床材・壁材は、新柄投入拡大の成果が出て、前年売上を上回りました。

引布商品は、内需向けポットが伸び悩み、前年売上を下回りました。

プラスチック事業の当第2四半期連結累計期間の業績は売上高 18,526 百万円(前年同四半期比 2.3%減)、セグメント利益(営業利益)は 1,652 百万円(前年同四半期比 53.4%増)となりました。

### <産業資材事業>

ウレタンは、寝具・雑貨用など主力商品が好調に推移、また車輛用も伸長し、前年売上を上回りました。

断熱資材は、農畜産向けを中心にパネル製品が好調でしたが、ボード製品、システム製品はともに建築向けで苦戦し、スチレン製品はブロックが低迷し、全体では前年売上を下回りました。

工業資材は、静電気対策品が半導体分野向けで海外顧客を中心に新規需要獲得が進みましたが、国内向けの主要製品が減少し、前年売上を下回りました。

産業資材事業の当第2四半期連結累計期間の業績は売上高 14,478 百万円（前年同四半期比 1.6%減）、セグメント利益（営業利益）は 1,209 百万円（前年同四半期比 26.1%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の財政状態は、総資産は 74,660 百万円で前連結会計年度末に比較して 3,347 百万円減少しました。

資産の部では、流動資産は 47,719 百万円となり前連結会計年度末に比較して 2,753 百万円減少しました。これは主に、現金及び預金が 477 百万円、電子記録債権が 446 百万円増加しましたが、受取手形及び売掛金が 3,580 百万円減少したことによります。固定資産は 26,940 百万円となり前連結会計年度末に比較して 594 百万円減少しました。これは主に、投資その他の資産が 408 百万円、有形固定資産が 101 百万円減少したことによります。

負債の部では、流動負債は 24,136 百万円となり前連結会計年度末に比較して 1,353 百万円減少しました。これは主に、その他流動負債が 277 百万円増加しましたが、支払手形及び買掛金が 1,211 百万円、未払金が 404 百万円減少したことによります。固定負債は 8,728 百万円となり前連結会計年度末に比較して 248 百万円減少しました。これは主に、退職給付に係る負債が 145 百万円、繰延税金負債が 95 百万円減少したことによります。

純資産の部は 41,795 百万円となり、前連結会計年度末に比較して 1,746 百万円減少しました。これは主に、退職給付に係る調整累計額が 205 百万円増加しましたが、為替換算調整勘定が 1,223 百万円、繰延ヘッジ損益が 390 百万円、その他有価証券評価差額金が 188 百万円、自己株式が 148 百万円減少したことによります。以上の結果、自己資本比率は 56.0%となり前連結会計年度末に比べ 0.2%好転しました。

### (キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は 8,433 百万円(前連結会計年度末比 477 百万円増加)となりました。

営業活動の結果、増加した資金は 3,396 百万円(前年同四半期比 421 百万円収入増)となりました。これは主に、売上債権の減少 2,683 百万円、減価償却費 1,216 百万円、税金等調整前四半期純利益 1,059 百万円による収入と、仕入債務の減少 913 百万円、たな卸資産の増加 341 百万円、その他の資産の増加 308 百万円の支出によるものであります。

投資活動の結果、減少した資金は 1,584 百万円(前年同四半期は 332 百万円の収入)となりました。これは主に、固定資産の取得による支出 1,649 百万円によるものであります。

財務活動の結果、減少した資金は 961 百万円(前年同四半期比 195 百万円支出増)となりました。これは主に、配当金の支払額 732 百万円、自己株式の取得による支出 148 百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、最近の業績動向を踏まえ、平成28年5月12日に公表いたしました通期の業績予想を修正しております。

詳細につきましては、本日（平成28年11月8日）公表の「平成29年3月期第2四半期累計期間業績予想値と実績値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計方針の変更）

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

(4) 追加情報

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期連結会計期間から適用しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,957	8,435
受取手形及び売掛金	26,966	23,385
電子記録債権	987	1,434
商品及び製品	9,410	9,255
仕掛品	1,480	1,618
原材料及び貯蔵品	1,801	1,798
繰延税金資産	918	1,068
その他	1,005	795
貸倒引当金	△54	△72
流動資産合計	50,473	47,719
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,734	7,541
機械装置及び運搬具（純額）	5,103	4,983
土地	4,940	4,926
建設仮勘定	38	281
その他（純額）	576	558
有形固定資産合計	18,393	18,291
無形固定資産		
	539	454
投資その他の資産		
投資有価証券	4,093	3,511
退職給付に係る資産	1,780	1,983
繰延税金資産	2,058	2,033
その他	723	828
貸倒引当金	△54	△164
投資その他の資産合計	8,601	8,193
固定資産合計	27,534	26,940
資産合計	78,007	74,660

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,589	13,377
短期借入金	2,315	2,229
未払金	3,876	3,471
未払法人税等	279	349
その他	4,430	4,707
流動負債合計	25,489	24,136
固定負債		
長期借入金	3,000	3,000
長期末払金	9	9
繰延税金負債	470	375
退職給付に係る負債	5,073	4,928
資産除去債務	356	363
P C B廃棄物処理引当金	66	51
固定負債合計	8,976	8,728
負債合計	34,466	32,865
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,640	14,640
資本剰余金	9,742	9,742
利益剰余金	18,055	18,054
自己株式	△81	△230
株主資本合計	42,357	42,208
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,056	868
繰延ヘッジ損益	△388	△778
為替換算調整勘定	888	△334
退職給付に係る調整累計額	△373	△168
その他の包括利益累計額合計	1,183	△413
純資産合計	43,541	41,795
負債純資産合計	78,007	74,660



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	42,244	40,920
売上原価	33,929	32,377
売上総利益	8,314	8,543
販売費及び一般管理費	7,767	7,613
営業利益	547	929
営業外収益		
受取利息及び配当金	29	31
その他	413	225
営業外収益合計	442	257
営業外費用		
支払利息	30	18
その他	33	107
営業外費用合計	64	126
経常利益	926	1,060
特別利益		
固定資産売却益	1,873	2
投資有価証券売却益	0	—
補助金収入	—	58
保険差益	0	0
特別利益合計	1,873	60
特別損失		
固定資産売却損	97	—
減損損失	129	—
固定資産除却損	29	61
投資有価証券売却損	0	—
特別損失合計	256	61
税金等調整前四半期純利益	2,543	1,059
法人税、住民税及び事業税	281	375
法人税等調整額	494	△47
法人税等合計	776	327
四半期純利益	1,767	731
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,767	731

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益	1,767	731
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	288	△188
繰延ヘッジ損益	△78	△390
為替換算調整勘定	89	△991
退職給付に係る調整額	15	205
持分法適用会社に対する持分相当額	22	△231
その他の包括利益合計	336	△1,596
四半期包括利益	2,103	△865
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,103	△865
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	2,543	1,059
減価償却費	1,264	1,216
減損損失	129	—
のれん償却額	16	16
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△5	127
受取利息及び受取配当金	△29	△31
支払利息	30	18
為替差損益(△は益)	△15	125
持分法による投資損益(△は益)	△67	△75
固定資産除売却損益(△は益)	△1,746	59
投資有価証券売却損益(△は益)	0	—
補助金収入	—	△58
保険差益	△0	△0
売上債権の増減額(△は増加)	3,040	2,683
たな卸資産の増減額(△は増加)	△615	△341
仕入債務の増減額(△は減少)	△688	△913
未払消費税等の増減額(△は減少)	△307	△41
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△170	△145
その他の資産の増減額(△は増加)	△406	△308
その他の負債の増減額(△は減少)	82	57
小計	3,054	3,446
利息及び配当金の受取額	204	213
利息の支払額	△29	△16
保険金の受取額	0	0
法人税等の支払額	△255	△248
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>2,974</b>	<b>3,396</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の増減額(△は増加)	0	△0
固定資産の取得による支出	△1,816	△1,649
固定資産の売却による収入	2,165	25
投資有価証券の取得による支出	△17	△18
補助金の受取額	—	58
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>332</b>	<b>△1,584</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△23	△80
自己株式の取得による支出	△2	△148
自己株式の売却による収入	0	—
配当金の支払額	△740	△732
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△765</b>	<b>△961</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	14	△373
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,556	477
現金及び現金同等物の期首残高	7,126	7,955
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,682	8,433

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	シューズ 事業	プラスチック 事業	産業資材 事業	計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
売上高						
外部顧客への売上高	8,555	18,969	14,718	42,244	—	42,244
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	82	259	342	△342	—
計	8,555	19,052	14,978	42,586	△342	42,244
セグメント利益	△478	1,077	959	1,557	△1,010	547

(注)1. セグメント利益の調整額△1,010百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用(一般管理費)であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

各報告セグメントに配分していない全社資産において、埼玉県ふじみ野市の資産について、遊休状態にあり、将来の用途が定まっていないため、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては129百万円であります。

## II 当第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	シューズ 事業	プラスチック 事業	産業資材 事業	計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
売上高						
外部顧客への売上高	7,915	18,526	14,478	40,920	—	40,920
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	79	248	327	△327	—
計	7,915	18,605	14,726	41,247	△327	40,920
セグメント利益	△832	1,652	1,209	2,030	△1,100	929

(注)1. セグメント利益の調整額△1,100百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用(一般管理費)であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。